



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年10月30日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社アーネストワン
コード番号 8895 URL http://www.arnest1.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西河洋一
問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 岡田慶太 TEL 042-461-6288
四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 平成24年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	91,977	8.6	9,485	△5.0	9,616	△4.1	6,062	3.1
24年3月期第2四半期	84,724	28.7	9,981	11.7	10,024	11.6	5,882	11.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	92.29	—
24年3月期第2四半期	89.56	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	90,730	64,420	71.0
24年3月期	89,885	60,657	67.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 64,420百万円 24年3月期 60,657百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	35.00	40.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	35.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	215,800	15.2	22,200	1.7	22,100	0.8	13,700	6.3	208.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	65,688,000株	24年3月期	65,688,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	679株	24年3月期	679株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	65,687,321株	24年3月期2Q	65,687,321株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
第2四半期会計期間	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかな回復基調にあるものの、厳しい雇用情勢に加え、海外経済の減速による景気の下振れリスク等により、先行き不透明な状況が続いております。

当不動産業界におきましては、新設住宅着工戸数に持ち直しの動きがみられるものの、低価格物件を中心に他社との競争は依然として厳しい状況にあります。

このような情勢のなか、当社は、ひとりでも多くの人々に住宅を持ってもらいたいという信念のもと、徹底した原価管理と品質の向上に努め、良質な戸建分譲住宅及び分譲マンションを低価格で供給してまいりました。また、営業面におきましては、平成24年6月に成増営業所、平成24年7月に神戸営業所、伊勢崎営業所を新設いたしました。

業績につきましては、戸建分譲事業及びマンション分譲事業において引渡数が増加したこと等により、売上高は前年同期を上回ったものの、販売単価の低下により営業利益及び経常利益は前年同期を下回りました。なお、引渡数は戸建分譲事業が3,910棟（建売分譲3,766棟、土地売分譲144区画）、マンション分譲事業が259戸となっております。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は919億77百万円（前年同期比8.6%増）となりました。営業利益は94億85百万円（同5.0%減）、経常利益は96億16百万円（同4.1%減）、四半期純利益は60億62百万円（同3.1%増）となりました。

また、当第2四半期会計期間の売上高は485億17百万円（前年同期比4.3%減）となりました。営業利益は50億82百万円（同10.5%減）、経常利益は51億38百万円（同9.7%減）、四半期純利益は32億21百万円（同3.7%減）となりました。

なお、当社の売上高は、主力事業である戸建分譲及びマンション分譲において、第4四半期会計期間に集中し、著しく増加する傾向にあります。このため、各四半期会計期間の業績に季節の変動があります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①戸建分譲事業

建売分譲におきましては、販売単価は低下したものの販売棟数が増加したこと等により、売上高は815億23百万円（前年同期比9.2%増）となりました。また、土地売分譲の売上高は22億27百万円（同12.7%減）、請負工事の売上高は9億14百万円（同169.3%増）となりました。結果として、戸建分譲事業全体の売上高は846億64百万円（同9.2%増）、税引前四半期純利益は85億72百万円（同1.4%減）となりました。

②マンション分譲事業

マンション分譲事業におきましては、販売単価は低下したものの販売戸数が増加したこと等により、売上高は73億12百万円（前年同期比2.0%増）、税引前四半期純利益は10億16百万円（同18.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は907億30百万円（前年度末比0.9%増）、負債は263億9百万円（同10.0%減）となっております。総資産増加の主な要因は、販売用不動産の仕入を積極的に行ったことにより、たな卸資産が増加したことによるものであります。負債減少の主な要因は、法人税等の支払に伴う未払法人税等の減少及び事業資金の返済に伴う有利子負債の減少によるものであります。また、純資産増加の主な要因は、四半期純利益の獲得によるものであります。

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前年度末に比べ49億79百万円減少し、290億36百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は5億24百万円（前年同期比82.8%減）となりました。これは主に、税引前四半期純利益を98億円獲得したものの、販売用不動産の仕入を積極的に行ったことにより、たな卸資産及び前渡金それぞれ46億59百万円、10億53百万円増加したこと及び法人税等の支出が44億82百万円であったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は1億94百万円（前年同期は投資活動の結果使用した資金1億84百万円）となりました。これは主に、投資有価証券の清算分配による収入が3億23百万円あったものの、投資有価証券の取得による支出が1億17百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は46億49百万円(前年同期は財務活動の結果得られた資金60百万円)となりました。これは主に、短期借入金の純減少額が23億54百万円及び配当金の支出が22億95百万円であったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、現時点では、平成24年5月14日公表の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

四半期会計期間に係る法人税等については、四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(累計期間)に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①減価償却方法の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,015	29,036
販売用不動産	11,590	12,020
仕掛販売用不動産	32,982	36,569
未成工事支出金	3,383	4,069
貯蔵品	19	26
前渡金	1,635	2,689
その他	1,618	1,818
流動資産合計	85,245	86,229
固定資産		
有形固定資産	3,222	3,169
無形固定資産	49	44
投資その他の資産	1,367	1,287
固定資産合計	4,639	4,501
資産合計	89,885	90,730
負債の部		
流動負債		
支払手形	5,490	5,304
工事未払金	9,997	10,593
短期借入金	5,964	3,610
未払法人税等	4,517	3,770
前受金	752	739
賞与引当金	480	483
役員賞与引当金	63	21
その他	1,443	1,254
流動負債合計	28,708	25,777
固定負債		
退職給付引当金	484	498
資産除去債務	4	4
その他	30	30
固定負債合計	519	532
負債合計	29,227	26,309

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,269	4,269
資本剰余金	3,167	3,167
利益剰余金	53,221	56,984
自己株式	△0	△0
株主資本合計	60,657	64,420
純資産合計	60,657	64,420
負債純資産合計	89,885	90,730

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	84,724	91,977
売上原価	68,935	76,120
売上総利益	15,788	15,856
販売費及び一般管理費	5,807	6,371
営業利益	9,981	9,485
営業外収益		
受取賃貸料	61	74
その他	83	107
営業外収益合計	144	182
営業外費用		
支払利息	91	36
その他	9	14
営業外費用合計	101	51
経常利益	10,024	9,616
特別利益		
投資有価証券清算分配益	—	123
受取補償金	—	60
特別利益合計	—	183
特別損失		
固定資産除却損	4	—
固定資産売却損	1	—
災害による損失	20	—
特別損失合計	26	—
税引前四半期純利益	9,997	9,800
法人税等	4,115	3,737
四半期純利益	5,882	6,062

(第2四半期会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	50,692	48,517
売上原価	41,710	40,129
売上総利益	8,981	8,388
販売費及び一般管理費	3,305	3,305
営業利益	5,676	5,082
営業外収益		
受取賃貸料	30	37
その他	43	43
営業外収益合計	74	81
営業外費用		
支払利息	54	15
その他	6	9
営業外費用合計	61	25
経常利益	5,689	5,138
特別利益		
受取補償金	—	60
特別利益合計	—	60
特別損失		
固定資産売却損	1	—
災害による損失	9	—
特別損失合計	10	—
税引前四半期純利益	5,678	5,198
法人税等	2,331	1,976
四半期純利益	3,347	3,221

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	9,997	9,800
減価償却費	51	50
引当金の増減額 (△は減少)	△83	△25
受取利息及び受取配当金	△8	△16
支払利息	91	36
固定資産除売却損益 (△は益)	6	—
投資有価証券清算分配損益 (△は益)	—	△123
受取補償金	—	△60
売上債権の増減額 (△は増加)	50	11
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,018	△4,659
前渡金の増減額 (△は増加)	△286	△1,053
差入保証金の増減額 (△は増加)	△9	15
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△185	△257
仕入債務の増減額 (△は減少)	△665	409
前受金の増減額 (△は減少)	340	△12
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△236	△145
未払又は未収消費税等の増減額	200	△53
その他	12	△27
小計	2,257	3,888
利息及び配当金の受取額	8	15
利息の支払額	△37	△6
補償金の受取額	—	60
法人税等の支払額	△5,279	△4,482
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,051	△524
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△93	△26
有形固定資産の売却による収入	0	—
投資有価証券の取得による支出	△64	△117
投資有価証券の清算分配による収入	—	323
その他	△26	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△184	194
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,208	△2,354
長期借入金の返済による支出	△599	—
社債の償還による支出	△250	—
配当金の支払額	△2,298	△2,295
財務活動によるキャッシュ・フロー	60	△4,649
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,174	△4,979
現金及び現金同等物の期首残高	23,740	34,015
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,565	29,036

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。